

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	廣内圧延工業(株)新工場	階数	地上1F
建設地	大阪府八尾市郡川一丁目	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2022年3月1日
敷地面積	10,642㎡	作成者	今村
建築面積	5,013㎡	確認日	2022年3月2日
延床面積	4,802㎡	確認者	石野



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.3**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 2.7**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.4

3 設計上の配慮事項		
総合	建物周辺に3.5m~14mの空地(車路、緑地帯)を設け、周辺に配慮した配置となっている 地上と屋上を緑化し、温熱環境の低減を図っている	
その他		
Q1 室内環境	工場(生産1F)の為 対象外	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	外壁、内壁に耐用年数20-30年のものを使用	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	敷地境界際を中高木、地被植物で緑化し、近隣周辺との緩和を図っている	
LR1 エネルギー	工場(生産1F)の為 対象外	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別可能な構造とし、内装材と設備がそれぞれ取外しができるようにしている	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	敷地の25%を緑化し、敷地外への熱的な影響を低減している 車路や出入口は大きくとり交通負荷を抑制している	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0129

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	廣内圧延工業(株)新工場						
	建設地	大阪府八尾市郡川一丁目						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						評価対象外	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						評価対象外	
④	エネルギー削減						評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		-
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		-
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		-
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		